

大会結果

疾走、初夏の安曇野

初開催の信州安曇野ハーフマラソン。参加ランナーのうち、4822人が完走しました。ランナーはそれぞれのペースで大会を楽しみ、充実した表情を見せてくれました。



●総合男子優勝 牛山純一さん（茅野市）

本大会は優勝を目指し、練習を重ねて参加しました。優勝することができて本当にうれしく思います。いただいたメダルは大切に飾りたいと思います。

●総合女子優勝 内山真由美さん（山梨県）

コースの景観が素晴らしく楽しんで走ることができました。県外からの参加でしたが、安曇野市の皆さんの温かい応援と歓迎が力になりました。

第1回大会入賞者の皆さん（敬称略）

総合男子入賞者

順位	氏名
1	牛山 純一（茅野市）
2	塩原 大（松本市）
3	岡田 健（神奈川県）
4	土屋 秀徳（上田市）
5	松久 哲治（上田市）
6	笹井 卓（東京都）
7	雨宮 慎一郎（山梨県）
8	塚本 章夫（東京都）

総合女子入賞者

順位	氏名
1	内山 真由美（山梨県）
2	伊藤 恵梨（愛知県）
3	安川 沙弥香（石川県）
4	長田 みさき（茅野市）
5	田村 幸江（東京都）
6	中田 弘美（静岡県）
7	菅沼 真衣（山形村）
8	浅田 志帆（上田市）



ボランティア・沿道応援

ランナーを支えた「おもてなしの心」

大会では、多くの市民の皆さんがボランティアとして活躍。ランナーへの給水やコース整理、おにぎりや玉ねぎのスープの提供などを行いました。また、終始途切れることなかった沿道からの声援はランナーの背中を後押ししました。フィニッシュ後は、「楽しかった」「安曇野ありがとう」など、ランナーから多くの感謝の言葉が聞かれました。



給水地点。初夏の強い日差しの中、ボランティアの皆さんの汗が光る。



ネギ味噌おにぎりの提供。ボランティアの皆さんが早起きして作ったおにぎりは約3,000個。心をこめて握った、おふくろの味。



フィニッシュしたランナーを迎える。「おつかれさま」。ねぎらう言葉が温かい。力を出し切ったランナーの表情が笑顔に変わる。



沿道応援の声



内田榮さん（豊科高家）

5千人のランナーは見ごたえがありました。スタート地点でランナーを見送り、フィニッシュに帰ってくるランナーも応援しました。応援で振った小旗は、孫が保育園で作ったものです。ランナーの皆さんが応援に応え、手を振ってくれるのがとてもうれしかったです。

ランナーの声



大谷博之さん（豊科南穂高）

去年は消防団の仲間とボランティアとして参加し、今年はランナーとして参加しました。順位に関係なく完走した達成感は言葉にできません。沿道からの「消防団頑張れ！」の声援も力になりました。来年はもう少し速く走れればと思っています。

大会ゲスト：有森裕子さん



バルセロナオリンピック・アトランタオリンピック両大会の女子マラソンメダリストの、有森裕子さんが大会ゲストとして参加。スタート・フィニッシュ地点や沿道でランナーに熱い声援を送り、力づけました。

参加ランナーの感想を紹介します（抜粋）

- ◇ スタッフ、ボランティアや応援してくださった皆さまに本当に感謝です。自分の故郷がこんなに賑わう姿を見てうれしくなりました。
- ◇ アルプスの山々を眺めながら田園地帯を駆け抜ける爽快感は最高でした。初めて目にした金色にたなびく麦畑にも感動。
- ◇ 沿道の声援がにぎやかで途切れることなく、うれしい言葉をいただきました。大会の記録動画を見て涙が止まりません。感動をありがとう！

